



OAKLEY
RAZZRWIRE™
QUICK START GUIDE



Motorola, Inc.
Consumer Advocacy Office
1307 East Algonquin
Road Schaumburg, IL 60196
www.hellomoto.com

MOTOROLAおよび“スタイライズドMロゴ”は日本、米国および諸外国におけるMotorola, Inc.の商標または登録商標です。Bluetoothの商標はその権利者により所有されており、モトローラ株式会社はライセンスに基づいて使用しています。その他記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

© Motorola, Inc., 2006.

注意：モトローラによる許可なく、携帯電話またはBluetoothモジュールを変更または改造した場合、該当機器を操作するユーザーの権利が加減となります。

携帯電話の機能によっては、ご契約の通信事業者のネットワークの機能および設定に依存するものがあります。また、一部の機能がご契約の通信事業者によってネットワークの設定によって機能が制限されたりすることがあります。機能の可用性および制限についてはご契約の通信事業者にお問い合わせください。すべての機能、製品仕様、および本書に記載されている情報等は最新の情報に基づいており、印刷された時点で正確と思われる内容です。モトローラは事前の通告なく、またその責任を負わずに情報や仕様を変更および修正する権利を保有します。

Oakley, Inc.
One Icon
Foothill Ranch, CA 92610
www.oakley.com

© 2006 Oakley, Inc.

Oakley, Razrwire, Chrome Ellipse ロゴは米国および諸外国におけるOakleyの商標または登録商標です。その他、記載されているブランド名、商品名および製品名は商標または登録商標であり各所有者に帰属します。アイウェアは米国製、Bluetoothモジュールは中国製です。

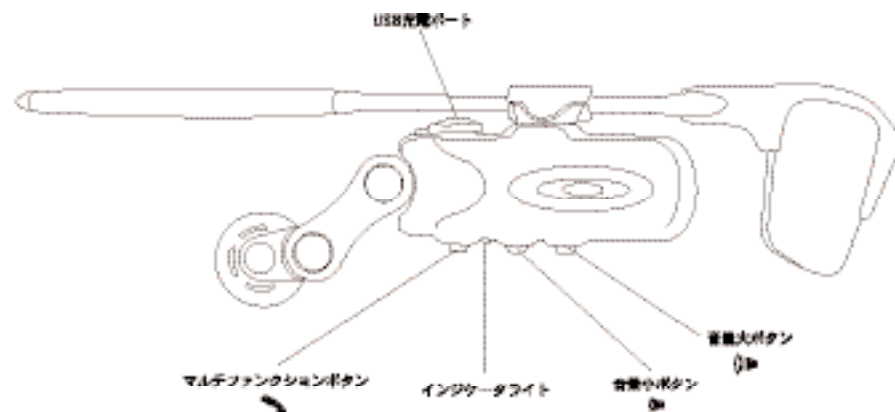
Oakley, Inc. 所有の米国特許権番号：7,004,582, 7,013,009 92. 米国および国際特許申請中。

QUICK START GUIDE

クイックスタートガイド

Contents

モジュールを充電する.....	1
モジュールを取り付ける.....	2
スピーカーの向きを寝える.....	3
モジュールの位置を調整する.....	3
RAZR WIREの電源をオン・オフする.....	4
RAZR WIREと携帯電話をペアリング (接続) する.....	4
RAZR WIREを使う.....	4
欧州連合指令Conformance Statement (適合性の宣言)	5
リサイクルによる環境への配慮.....	5
携帯電話とアクセサリのリサイクル.....	5
サポート.....	7
モトローフBluetoothアクセサリモジュールの限定保証.....	8



モジュールを充電する

RAZRWIREを初めてご使用になるときは、あらかじめ約2時間30分の充電をしてください。RAZRWIREには専用の充電器ウォールチャージャーが付属しています。

モジュールの充電方法

1. 充電器のプラグをコンセントに差し込みます。
2. 充電器のケーブルをRAZRWIREの充電用ポートに接続します。プラグは必ず真っ直ぐに差し込んでください。プラグがうまくモジュールに接続できない場合は、プラグを裏返して差し込んでください。充電中はRAZRWIREモジュールのインジケータライトが赤く点灯します。
3. インジケータライトが消えたら充電は完了です。

モジュールを取り付ける

モジュールは左右両側に取り付けられます。モジュールを取り付けた後でスピーカーの向きを変える必要がある場合は2ページの「スピーカーの向きを変える」をご覧ください。

下図に沿ってモジュールを取り付けてください。





<p>1. 取付留金をスピーカーの方に向けます。</p>

スピーカーの向きを変える

モジュールを取り付けた後でも耳に合うようにスピーカーの向きを変えられます。

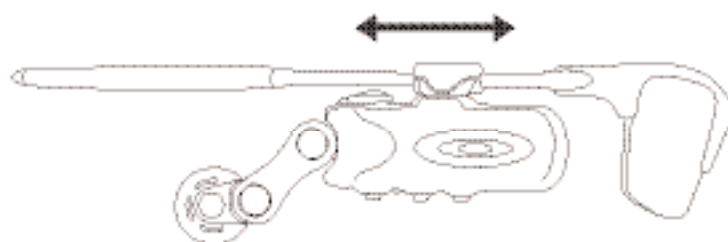
下図に沿ってスピーカーの向きを変えてください。

(注意：スピーカーの向きを変える時は過度の力をかけないでください。ユニットに損傷を与える場合があります。)

1. 右図の状態から始めます。	
2. スピーカーをたたむと右図のようにモジュールに対してスピーカーが垂直になります。	
3. スピーカーをゆっくりと下方に回転させます。反対側の正しい位置までくるとカチリとはまります。	
4. スピーカーを開きます。	

モジュールの位置を調整する

スピーカーが快適に耳にフィットするようにモジュールの位置調整が必要な場合があります。その場合は、モジュールをフレームのステムに沿って前後にスライドさせてください。



RAZRWIRE の電源をオン・オフする

モジュールをオンにする：マルチファンクションボタンをインジケータライトが3回点滅するまで押し続けます。RAZRWIRE を装着している場合は、イヤースピーカーから同期音が聞こえます。

モジュールをオフにする：通話中以外の際に、イヤースピーカーから低音～中音の通知音に続いて同期音が聞こえてくるまでマルチファンクションボタンを押し続けます。電源が切れる際、インジケータライトが2回点滅します。

注意：モジュールをオンにすると、待ち受け状態になり、使用可能となります。内蔵されている充電式バッテリーにより、約100時間の待ち受けが可能です。

- RAZRWIRE はオフのときは電力を消費しません。ただし、内蔵されている充電式バッテリーは時間が経つと自然放電するため、長時間放置した場合は新たに充電が必要となります。








RAZRWIRE と携帯電話をペアリング(接続)する

RAZRWIRE モジュールと携帯電話を組み合わせて使用するには携帯電話をペアリング(接続)する必要があります。この手順の実行が必要なのは1回のみで、その後はRAZRWIRE モジュールと携帯電話のBluetooth をオンにするだけで自動的に接続されます。

- モジュールの電源をオフにしたまま、イヤースピーカーから高音の通知音が聞こえるまでマルチファンクションボタンを押し続けます。
- 携帯電話でデバイスを検出します。(ペアリングの操作については、接続する各機器の取扱説明書をご覧ください)
- 携帯電話に検出されたすべてのBluetooth デバイスのリストを確認し、「Oakley RAZRWIRE」を選択してください。
- パスキーの入力画面が表示された場合はパスキー(0000)を入力して 操作を進めてください。

RAZRWIRE と携帯電話が正しくペアリングされるとインジケータライトが10回点滅します。その後自動的にオンの状態になり、使用可能になります。

RAZRWIRE を使う

電源を入れる	マルチファンクションボタン  を押します
電源を切る	マルチファンクションボタン  を押します
音量調整	音量大ボタン  を繰り返し押し押して音量を上げます 音量小ボタン  を繰り返し押し押して音量を下げます
マイクのミュート	音量小ボタン  を2秒間長押しします
通話の終了	マルチファンクションボタン  を押します
電源を切る	マルチファンクションボタン  を4秒間長押しします

その他の機能については RAZRWIRE クイックガイドをご覧ください。

欧州適合指令 Conformance Statement (適合性の宣言)



モトローラは本製品が下記に適合していることをここに宣言します。

Directive 1999/5/ECの必須条件および他の関連条項

Directive 1999/5/EC (R&TTE Directive) に対する製品の Declaration of Conformity (DoC) (適合宣言書)は、www.motorola.com/rts でお読みいただけます。DoCを検索するには、ウェブサイトの“Search”バー内の製品ラベルから製品承認番号を入力します。

リサイクルによる環境への配慮



モトローラ製品にこのマークが付いている場合は、その製品を家庭廃棄物と共に捨てないでください。

携帯電話とアクセサリのリサイクル



本製品の充電式バッテリーは正しく廃棄する必要があるため、またリサイクルが必要な場合があります。

国や地域によっては、電気製品およびその廃棄物を扱う収集体制が確立されている場合があります。詳細については、お住まいの自治体にお尋ねください。収集体制が整備されていない場合は、不要になった携帯電話や電気関連のアクセサリをお住まいの地域にあるモトローラ認定のサービスセンターに返却してください。

警告：バッテリーは絶対に火の中に投げ込まないでください、爆発する恐れがあります。

安全およびご使用上の注意

安全および効果的な操作に関する重要な情報です。この情報は機器をご使用になる前にお読みください。

Bluetooth について

Bluetooth とは、携帯電話やパソコン等の Bluetooth 対応機器同士をワイヤレス接続する技術です。

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

本機器は見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。本製品と接続する機器の間に障害物がある場合も接続可能距離は短くなり、音飛びの原因となります。特に鉄筋コンクリートの建物では上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

他の機器(電気製品・AV機器・OA機器・デジタルコードレス電話機・FAXなど)から2m以上離れて接続してください。(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画像が乱れることがあります)。

放送局や無線機などが近く、正常に接続できない時は接続可能な場所へ移動してください。周囲の電波が強すぎる時は正常に接続できないことがあります。

■無線 LAN との電波干渉について

Bluetooth 機器と無線 LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の周辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

1. 無線 LAN と本製品および接続する機器を 10m 以上離してください。
2. 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN または、本製品と接続する機器の電源を切ってください。


■Bluetooth を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。本製品を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■本製品を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

周波数帯について

本製品が使用する周波数帯は、2.4GHz 帯で下記のラベル表記で示した仕様となっています。



- (1) 2.4 : 2400MHz 帯を使用する無線設備を示します。
- (2) FH : 変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
- (3) 1 : 想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。
- (4)  : 2400MHz ~ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth 機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。

無線周波エネルギーの警告

電磁干渉や適合性の不一致を避けるために、機器の電源を切るような指示のある施設ではその指示に従ってください。病院または医療施設ではご使用の機器から発生する外部無線周波 (RF) エネルギーの影響を受ける装置を使用している場合があります。

航空機

航空機に搭乗中に機器の電源を切るよう指示された場合は、その指示に従ってください。機器の使用については、航空会社乗員の指示による規制に従う必要があります。

医療機器

補聴器：機器によっては一部の補聴器に干渉することがあります。そのような干渉が発生した場合は、対応について補聴器の製造業者に相談してください。

その他の医療機器：その他の個人用医療機器をご使用の場合は、その機器が無線周波 (RF) エネルギーから十分に遮断されているかどうか製造業者にご相談ください。またはかかりつけの医師の指示に従ってください。

電子システム

RAZR WIRE を自動車内や家庭のステレオスピーカー、またはテレビのブラウン管などの強磁場に近づけないでください。そのような場所で使用される場合は、事前に装置の製造業者にご相談ください。

安全情報：一般的使用

自己責任においてご使用ください

注意散逸の防止

自動車やオートバイ、自転車の運転中にヘッドセットを使用するのは危険であり、国によっては法律で禁止されています。お住まいの地域の法律をご確認ください。相心の注意が必要とされる作業を行う際に RAZR WIRE を使用する場合は十分ご注意ください。事故や傷害の危険を避けるため自動車やオートバイ、その他エンジンのついた移動用装置を運転しながらの電話の受信・発信はおやめください。

聴覚障害の防止

大音量でヘッドセットを使用すると聴力が永久に失われる恐れがあります。耳鳴りがする場合は音量を下げるか RAZR WIRE の使用を速やかに中断してください。大音量で使用し続けると耳がその音量レベルに慣れてしまい、永久的な聴覚障害に至る可能性があります。RAZR WIRE は安全な音量レベルでお使いください。

湿気を避ける

RAZRWIRE を水、その他の液体、またはその近くや濡った場所で使用すると感電や重大な傷害の原因となりますのでご注意ください。通信モジュールは防水仕様ではありませんので、以下の点に留意してお使いください。

- 水泳または入浴時は RAZRWIRE を使用しないでください。
- 雨の中で RAZRWIRE を着用しないでください。
- RAZRWIRE またはその充電アダプターに食べ物や液体がこぼれたら、RAZRWIRE から充電ケーブルを抜き、コンセントから電源アダプターを外して完全に乾燥させてからご使用ください。

使用場所

RAZRWIRE は爆発物や危険物の近くでは絶対に使用しないでください。これらの物質は揮発性を持つことがあり、重大な傷害または死亡事故の原因となる可能性があります。医療施設内や航空機搭乗中の RAZRWIRE 使用制限については「Bluetooth について」の項を参照してください。

RAZRWIRE のお手入れ

改造や分解はしないでください

RAZRWIRE を分解しないでください。分解すると感電や重傷を負う可能性があります。内部にはユーザーが再利用や処置できる部品はありません。モジュールを改造または修理すると、保証が無効になります。ユーザーはいかなる方法でも、本機器を改造または修理することを認められておりません。変更または修正すると、本機器を使用するためのユーザーの権利が無効となります。47 CFR Sec. 15.21 を参照してください。

バッテリー

内蔵されている充電式バッテリーは取り出さないでください。内蔵されている充電式バッテリーを含む機器の廃棄は、地域の環境規制に従ってください。

温度

- RAZRWIRE は -20°C より低い温度、または 50°C より高い温度で保管したり、使用したりしないでください。
- RAZRWIRE は 0°C より低い温度、または 40°C より高い温度では充電しないでください。
- 駐車中の自動車内では、上記の温度範囲を越えることがあります。RAZRWIRE を駐車中の自動車内に保管しないでください。
- RAZRWIRE を直射日光の当たる場所に保管しないでください。
- フル充電状態の RAZRWIRE を高温下で保管すると、内蔵されているバッテリーの寿命が短くなることがあります。
- バッテリーの寿命は低温状態では一時的に短くなることがあります。

衝撃について

RAZRWIRE に過度の力または衝撃を与えないでください。RAZRWIRE を落とさないように注意してください。

充電器

充電ケーブルのコネクタをモジュールポートに無理に押し込まないでください。コネクタがポートに入らないときは、コネクタを 180 度裏返してから接続してください。RAZRWIRE 専用の充電器以外の充電器での充電はしないでください。

クリーニング

RAZRWIRE をクリーニングするときは、次の注意を守ってください。

- 通信モジュールは防水仕様ではないため、湿気により電子回路が損傷することがあります。モジュールのいかなる部分も水洗いしたり水に浸けたりしないでください。モジュールは常に乾燥状態においてください。
- クリーニングの前に、必ず RAZRWIRE のプラグをコンセントから抜いてください。
- レンズを石鹸、合成洗剤、アンモニア、アルカリ洗剤、研磨剤の入った清掃用コンパウンドまたは溶剤や揮発性の高いもり止めなどでクリーニングしないでください。これらの物質はレンズのコーティングを損傷したり、モジュール内に漏洩して電子回路を損傷したりすることがあります。
- レンズに傷が付いた場合は、視力障害を防ぐためにレンズの交換を推奨します。

サポート

RAZRWIRE Bluetooth アクセサリーモジュールが正常に作動しない場合は、バッテリーが充電されていること、正しい手順で Bluetooth 対応携帯電話を RAZRWIRE とペアリングしたことをご確認ください。また www.oakley.jp (www.oakley.com 英語のみ) にアクセスして商品情報を入手してください。それでも RAZRWIRE Bluetooth アクセサリーモジュールが正しく作動しない場合は、お客様もしくは正規販売店からモトローラカスタマーホットライン(平日 9:00 ~ 18:00 TEL:0120-227-217)へお問い合わせいただき、モトローラ製品番号と詳細説明を受けてください。

モトローラ Bluetooth アクセサリーモジュールの限定保証

保証対象

モトローラは下記の除外規定に従い、Bluetooth モジュール アクセサリーを「モトローラ限定保証」に従い、通常の消費者の使用方法において材料および製造上の欠陥がないことを保証します。この限定保証は消費者の唯一の法的救済であり、日本国内で消費者により購入され、この書面による保証書が添付された新品のモトローラ製品、付属品に対して下記のように適用されます。オークリーは「アイウェア保証規定」に従いアイウェアを保証します。

製品およびアクセサリ

対象製品	保証期間
製品およびアクセサリについては、下記に他の規定がない場合は上記の通り	下記に他の規定がない場合は、製品の最初の消費者/購入者が購入した日から1年間
修理または交換された製品またはアクセサリ	元の保証の残存期間または消費者に返却された日から90日間のいずれか長い方の期間

除外規定

通常のご使用による磨耗および傷：通常の磨耗および傷による部品の定期保守、修理および交換は対象外です。

バッテリー：ご購入時のフル充電容量が定格容量の 80% 未満のバッテリーおよび液漏れのあるバッテリーのみがこの限定保証の対象となります。

悪用および誤用：以下の原因により発生した欠陥または損害は対象外となります。(a) 不適切な操作、保管、誤用または悪用、事故または放置、たとえば誤用による製品表面の物理的な損傷（ひび割れ、擦り傷など）、(b) 液体、水、雨、過度の湿度または大量の汗、砂、泥など、極端な高温、または食べ物との接触、(c) 製造またはアクセサリを意図目的で使用した場合、製品またはアクセサリを異常な方法や条件で使用した場合、または (d) モトローラの過失ではない行為。

モトローラ製以外の製品および付属品の使用：モトローラ以外の商標付きまたは認定製品、付属品、ソフトウェアまたは他の周辺装置の使用により発生した欠陥または損害は対象外となります。

不正なサービスまたは改変：モトローラまたはその認定サービスセンター以外の当事者によるあらゆるサービス、試験、調整、設置、保守、改造、または改変により発生した欠陥または損害は対象外となります。

改変された製品：(a) シリアル番号または日付タグが除去、改変、または消されている、(b) シールが破損している、または変更の野暮がある、(c) 高級のシリアル番号が不一致、または (d) 不適合な、またはモトローラ以外のハウジング、または部品を持つ製品またはアクセサリは対象外となります。

通信サービス：製品、アクセサリまたはソフトウェアを用いて加入または使用した通信サービスまたは信号による製品、アクセサリまたはソフトウェアの欠陥、損害、または障害は対象外となります。

保証の対象者

この保証は最初の購入者のみに適用され、譲渡できません。

モトローラの対処

モトローラは自己の判断により、この保証に適合しない製品を無料で修理・交換します。当社は同等の機能を持つ修理もしくは修復済み、中古または新製品、アクセサリまたは部品をその修理・交換に使用することがあります。個人の連絡先、ゲームおよび呼び出し音を含む（ただしそれらに限定されない）製品、アクセサリまたはソフトウェアに追加されているデータ、ソフトウェアまたはアプリケーションは再インストールされません。そのようなデータ、ソフトウェアおよびアプリケーションの損失を避けるために、サービスを要求される前に必ずバックアップをお客様の責任で保存しておいてください。

保証サービスを受ける、またはその他の情報を確認する方法

商品をご購入されたオークリー正規取扱店にご連絡いただくか、<http://www.ockley.jp>の当社ウェブサイトアクセスして最寄りの正規取扱店もしくはオークリージャパンカスタマーサービス（平日9:30～18:00/TEL:0120-009-148）までお問い合わせください。修理の必要があると考えられる場合は故障箇所に応じて、レンズ・アイウェア部分に関してはオークリージャパンカスタマーサービス、モジュール・機械部分に関してはモトローラカスタマーホットライン（平日9:00～18:00/TEL:0120-227-217）までお問い合わせ下さい。

その他の制限

黙示的に示される保証は商品性および特定目的での適合性の黙示的な保証を含め、この保証の期間に限定されるものとし、それ以外の場合はこの保証において提供される修理、交換または返金は消費者の唯一の法的救済となり、明示または黙示される他のすべての保証に代わって提供されます。

モトローラはいかなる場合にも契約の記述または不法行為のあるなしを問わず（怠慢を含め）製品、アクセサリまたはソフトウェアの購入金額を上回る損害について、またはあらゆる間接的、偶発的、特殊な、もしくは必然的なあらゆる種類の損害、または製品、アクセサリ、ソフトウェアの使用が可能または不可能なことに起因・関連する収益または利潤の損失、取り引き上の損失、情報またはデータ、ソフトウェアまたはアプリケーションの損失、または他の財政的損失についてこれらの損害が法律により査定される最大限の範囲で責任を負うことはありません。

国や管轄区域によっては、偶発的または必然的な損害の限定または除外、または暗示的な保証期間の制限を許しておらず、その場合は上記の制限または除外が適用されないことがあります。この保証は利用者に特定の法律上の権利を考慮するものであり、また利用者は国や管轄区域ごとに異なる他の権利を保有する場合があります。

米国およびその他の国々の法律ではモトローラが版權を所有するソフトウェアについてモトローラソフトウェアの複製を再生・配布するための独占権など、一定の独占権を認めています。モトローラソフトウェアは、そのモトローラソフトウェアに関連する製品へのコピー、使用および再配布のみが許されます。その他の使用は、そのモトローラソフトウェアの分解またはモトローラのために留保されている独占権の行使を含め、ただしそれらに限定されることなく、許されません。

ワイヤレス携帯電話の安全のためのヒント

安全運転、賢くワイヤレス電話

自動車を運転される場合、その地域の携帯電話およびそのアクセサリの使用に関する法律および規制をご確認の上、法律および規制には必ず従ってください。これらの機器の使用は場所によっては禁止または制限されることがあります。詳細については各国や地域の交通安全法を管轄する政府機関の情報サービスにてご確認ください。

日本国内では自動車を運転中に携帯電話での通話や手に持って使用、信号待ちであってもその画面を注視する行為は法律で禁止されていますので、くれぐれも運転中の携帯電話のご使用はお止めください。

ワイヤレスで電話を受けた場合、通話相手にお客様が自動車を運転中であることをお伝えください。交通状況や気象条件が危険な場合は、ワイヤレス通話であっても通話を中断してください。雨、みぞれ、雪、氷、それに交通量の多い道路も危険ですので通話を終了するようにしてください。

緊急時の通報には車を安全な場所に駐車してから携帯電話を使用してください。携帯電話サービスが利用可能な場合は火事、交通事故または救急の場合110、119など地域の緊急番号をダイヤルして下さい。

使用者への FCC 勧告

使用者はいかなる方法においても本機器への変更または改造は行いません。法令遵守義務を負う当事者から書面による事前の許可なく変更または改造を行った場合、本製品を操作する使用者への権限は無効となる可能性があります。47CFR パート 15.21 を参照してください。本機器は FCC 規定のパート 15 に準拠しています。以下の 2 つの条件に従って動作させる必要があります。(1) 本機器によって有害な干渉が発生しない。(2) 本機器は好まれない動作の原因となる可能性のある干渉を含むあらゆる干渉を受信できなければなりません。47CFR15.19(3) を参照してください。

輸出規制保証

本製品および付属品は日本輸出管理規制（「外国為替および外国貿易法」およびその関連法案）並びに米国再輸出規制（Export Administration Regulation）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

テレコム認証について

RAZR WIRE は日本電設法に基づき、無線局に使用するための無線設備の工事設計認証を取得している製品です。

RAZR WIRE :  [E] 201 NY 05215205

RAZRWIRE™適合表

通信事業者	メーカー	機種	RAZRWIRE ペアリング/通話
NTT DoCoMo	モトローラ	M1000	○
	松下	P902i	○※
		P902is	○
	富士通	F900IT	○※
ノキア	NM850iG	○	
au	東芝	W21T*	○※
		W31T	○※
		W32T	○※
		W41T	○※
		W44T	○
Softbank	シャープ	703SH	○
		703SHf	○
		705SH	○
		802SH	○
		804SH	○
		902SH	○
		903SH	○
		904SH	○
		905SH	○
	東芝	705T	○
		803T	○
		902T	○
		903T	○
		904T	○
	ノキア	702NKII	○
		702NK	○
	サムソン	804SS	○
NEC	804N	○	
ソニーエリクソン	802SE	○	
WILLCOM	京セラ	WX310K	○※

※携帯端末から発信する際は携帯端末側で通話切替を行い通話して下さい。

- ・ P902i, P900IT, WX310Kは通話ボタンを長押しで切替えて下さい。
- ・ W41T, W32T, W31TはEZボタンを押しで切替えて下さい。

*au : W21TはBluetoothは適合外の機種となります。

携帯端末の機能により、リダイヤルや着信拒否等の操作ができない場合がございますのでご注意下さい。
ご使用になる携帯端末側の操作に関しては、通信事業者または製造メーカーにお問合せください。

2006年8月現在当社調べ